

佐賀藩主鍋島家の地歩を固め 神様となった 藩祖鍋島直茂公

佐賀藩主鍋島家の礎 戦国時代に肥前を領した龍造寺隆信公(1529～84)の戦死後は、隆信公のもとで武功を重ねていた義兄弟にあたる鍋島直茂公が国政をリードし、朝鮮出兵や家臣団の統制などを通じ、佐賀藩主としての鍋島家の地歩を固めました。

神様となる のちにその言行は武士道論「葉隠」でも回顧され、歴代藩主の藩政運営においても重視されました。さらに明和9年(1772)には8代藩主鍋島治茂公により日峯社(現在の松原神社)が創設され、直茂公(日峯明神)は神となりました。

1530

神埼・田手の戦い

鍋島家は大内軍を敗走させた功績で、龍造寺家から本庄80町を安堵され、鍋島清房は龍造寺家純の娘(華溪)を娶る

1538

1歳 本庄館で誕生

父:鍋島清房/母:華溪(龍造寺家純の娘)。華溪の没後、慶長厄(龍造寺隆信生母)が清房に再嫁し、隆信と義兄弟となる

1570

33歳 今山の戦い

鍋島直茂の奇襲により龍造寺軍が大夫軍を破る
これ以降、龍造寺家は肥前制覇。筑後・筑前等にも進出

1582

45歳 秀吉からの密書

鍋島直茂は秀吉に南蛮帽子を贈るなど
龍造寺隆信の戦死前から好を通じていた

1587

50歳 秀吉からの動員

肥前国一揆鎮圧のため、龍造寺政家と並び、
鍋島直茂は秀吉から忠節を求められる

1588

51歳 長崎代官となる

秀吉の直轄地長崎の代官に任命され、
秀吉との主従関係が公的なものとなる

1592

55歳 朝鮮出兵

秀吉から出兵を命じられた鍋島直茂は
朝鮮出兵を通じ家臣団との紐帯を強化

1607

70歳 佐賀藩主鍋島家の成立

徳川家康の命により、鍋島直茂の嫡男勝茂が
龍造寺高房の家督を相続し、初代佐賀藩主となる

1618

81歳で病没

<高傳寺殿日峯宗智大居士>
龍造寺隆信の戦死後、家臣団の信望厚かった鍋島直茂が
長命で、国政をリードしたことが肥前の安定に寄与

1772

日峯明神となる

直茂の言行は葉隠などで語り継がれ、8代藩主鍋島治茂
により日峯明神(のち大明神)として日峯社に祀られる

佐賀城下探訪会

「藩祖鍋島直茂公ゆかりの地」解説冊子

直茂公ゆかりの地をめぐる本展関連イベント(5/21開催)
の解説冊子を500円で販売しています(5/18から)

鍋島報効会研究助成 第16回研究報告会

平成29年 6月3日(土) 14:00～16:30 場所:徴古館2階
参加費:500円(企画展観覧料込) 定員:先着60名(予約不要)

- ◆小野 博司(神戸大学大学院法学研究科)
「ある司法官の軌跡 ―刑法起草者・古賀廉造について―」
- ◆貴田 潔(静岡大学人文社会科学部社会学科)
「環有明海地域における荘園制と地域社会のネットワーク」
- ◆東中川 忠美(吉野ヶ里公園管理センター)
「褐釉印花文技法の基礎的研究 ―窯跡出土資料を中心として―」
- ◆伊藤 慎吾(国際日本文化研究センター)「初期蓮池藩における八幡信仰とその担い手」
- ◆村松 洋介(佐賀県立名護屋城博物館)「佐賀県域における青銅器の受容と変容」



ご利用案内 |

¥300円
(小学生以下は無料)

9:30～16:00

日曜・祝日

交通アクセス |

無料駐車場あります

長崎自動車道 佐賀大和ICから、市街方面へ車で約20分

佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
JR佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ |

info@nabeshima.or.jp
http://www.nabeshima.or.jp
(0952)23-4200(公益財団法人鍋島報効会)

企画展を5回観覧できる
とってもお得な年間パスカード
販売中!(1枚1,000円)
※誰とでも共有OK!!
※2018年3月迄有効

徴古館

The Museum CHOKOKAN

NABESHIMA